

【担当教員】

稲垣 文雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟502室

【授業目的及び達成目標】

実際に使えるフランス語の初歩的知識と実践的スキルを身につけるとともに、フランス文化についての初歩的理解を得ることを目標にします。本学の教育目的1に該当。具体的な達成目標は、以下の通りです。

- * フランス語のつづりが読め、通じる範囲内の発音ができる。
- * 簡単なフランス語文を聞いて理解でき、自分でも言える。
- * 日常生活における簡単な会話ができる。
- * 日常生活の基礎的な単語を覚えて、口頭で言える。
- * 初歩的な文法知識を習得する。
- * フランスの文化、実生活についての初歩的理解を得る。

【授業キーワード】

フランス語。初級。コミュニケーション。

【授業内容及び授業方法】

口頭表現の練習に重点を置いた参加型の授業を目指します。初歩なので、フランス語の発音と綴りの読み方から始め、基本的な文法項目順に授業を進めます。フランス人に通じる範囲内の発音ができるようになることと日常生活における基本語彙の習得を念頭に置きつつ、基本的な文法事項を学んでゆきます。文法事項は簡単な口頭表現に必須なものを厳選し、それを用いた表現を使うことによって覚えてゆきます。文法知識の詰め込みに終わることのないよう、先を急がず、随時復習をしながら授業を進めます。最初の授業で、授業の進め方を具体的に説明します。

【授業項目】

1. フランス語の音、あいさつの表現
2. フランス語の文字と発音、礼の言い方、軽いあやまり方。
3. 名詞、別れのあいさつ
4. 冠詞、リエゾン、エリズィオン、注文の表現
5. 形容詞、曜日
6. 主語人称代名詞と動詞、国籍・国語等
7. 否定文・疑問文、数1～10
8. 会話練習
9. 指示代名詞、所有形容詞、特殊な形容詞、物の尋ね方
10. 指示形容詞、前置詞と冠詞、
11. 場所の表現、1日
12. 動詞avoir、数量の表現
13. ミニ会話練習
14. 数10～20、時刻の表現等
15. 1学期の総復習

【教科書】

『使って覚える実用フランス語』 稲垣文雄著 朝日出版社 2400円＋税

【参考書】

辞書『クラウン仏和辞典』三省堂

【成績の評価方法と評価項目】

試験の成績(70%)と授業の平常点(30%)によって評価します。

【留意事項】

未知の外国語を習得するにはある程度の努力と忍耐が必要とされるのが現実ですが、できる限り楽しく学びたいと考えています。最初の授業で、授業の仕方を具体的に説明しますから、納得したうえで受講してください。受講者の要望も可能な限り取り入れます。私語は授業妨害になるので、厳禁します。

授業中に生じた疑問点は後回しにせずその場で解決すべきなので、気軽に質問をしてください。初歩的なこと・同じことを繰り返し質問してもとがめられることはありません。予習よりは復習のほうが重要です。

フランス語初級Iとフランス語初級IIをとおして履修してはじめて、初等フランス語をひととおり修得することになるので、両者の継続的履修が望まれます。

【担当教員】

稲垣 文雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟 502室

【授業目的及び達成目標】

実践的なフランス語力の養成を目指します。フランスに旅行したとき自分の用をどうにかまかなえる会話力を身につけること。本学の教育目的1に該当。具体的な達成目標は以下の通りです。

- * 日常生活における平易な会話力を身につける。
- * 旅行に要する基本的な会話表現を修得する。
- * フランス旅行に関わる実際的な知識を得る。
- * 現在時制の範囲内の基本的な文法知識を習得する
- * 11月中旬に実施される、実用フランス語技能検定試験(仏検)5級合格。
- * フランスの文化・現状についての理解を深める。

【授業キーワード】

フランス語。初級。コミュニケーション。

【授業内容及び授業方法】

実践的・基本的なフランス語運用能力を身につけて、平易な日常会話力およびフランス語圏に旅行したときに自分の用をどうにかまかなえる会話力を養う練習をします。また、フランスの文化についての理解を深めるとともに、実際にフランス語圏に行ったときに役立つ知識も併せて学びます。フランス語初級Iに引き続き、聞く、話すといった実践的練習を重ねながら基本的な文法知識の習得に努めますが、後半は教科書と辞書をたよりに平易なフランス語文を解釈する訓練を加えます。

【授業項目】

1. 第1群規則動詞、第2群規則動詞、季節
2. 疑問形容詞、月
3. 不規則活用動詞 aller, venir、近接未来、近接過去
4. 人称代名詞強勢形、年、週
5. 比較の表現、方位、天体
6. 命令文、助動詞的な動詞
7. 非人称構文、天候・時刻の表現
8. 様々な否定表現、買い物の表現、遠近の表現
9. 代名動詞
10. 実用フランス語技能検定試験(仏検)5級模擬試験
11. 目的語人称代名詞1、数21~69
12. 目的語人称代名詞2、コンピュータ・メール用語
13. 会話練習(買い物、レストラン)
14. 会話練習(地下鉄に乗る、列車の切符を買う)
15. 2学期の総復習

【教科書】

『使って覚える実用フランス語』 稲垣文雄著 朝日出版社 2400円+税

【参考書】

辞書『クラウン仏和辞典』三省堂

【成績の評価方法と評価項目】

試験の成績(70%)と授業の平常点(30%)によって評価します。

【留意事項】

受講者はすでにフランス語初級Iを履修している(単位を取得したかどうかは問わない)という前提で講義をします。最初の授業で、授業の仕方を具体的に説明しますから、納得したうえで受講してください。受講者の要望も可能な限り取り入れます。私語は授業妨害になるので、厳禁します。

授業中に生じた疑問点は後回しにせずその場で解決すべきなので、気軽に質問をしてください。初歩的なこと・同じことを繰り返し質問してもとがめられることはありません。予習よりは復習のほうが重要です。

【担当教員】

稲垣 文雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟 502室

【授業目的及び達成目標】

簡単なフランス語が聞き取れ、話せるコミュニケーション力を養成することを目的とする。本学の教育目的1に該当。具体的達成目標は以下の通り。

1. 初歩的会話力を身につける。
2. フランス語圏に旅行したとき、最低限の用をまかなえる。

【授業キーワード】

フランス語、初歩、会話

【授業内容及び授業方法】

口頭での初歩的なフランス語会話力を身につけるために、耳と口で繰り返し練習する。簡単なフランス語を聞いて理解して、それを自分で繰り返す。書いて覚えるという姿勢はとらず、その場で口頭で覚える。必要に応じて、文法の復習的な説明を加えます。最初の授業で、具体的に説明します。

【授業項目】

1. フランス語の発音。
2. フランス語の単語を発音する。
3. 挨拶の表現。
4. 自己紹介。
5. 家族について言う。
6. 好き嫌いの表現。
7. 自分の持ち物について言う。
8. 住居について言う。
9. 身体・服装の表現。
10. ホテルに泊まる。
11. 地下鉄に乗る。
12. キャフェに入る。
13. レストランで食事をする。
14. 買い物をする。
15. 総合練習

【教科書】

『新訂版・えすかご1』 藤田裕二著 朝日出版社 2,300円
教科書の他、適宜プリントを加えます。

【成績の評価方法と評価項目】

発音、語彙等、フランス語の口頭表現力によって評価します。

【留意事項】

フランス語初級1だけしか履修していない者は、文法知識が不十分なので、フランス語初級2を平行して履修することが望ましい。

【担当教員】

宮内 俊至

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

ドイツ語の発音と文法の基礎を学ぶことにより、初歩的なドイツ語能力を習得する。

【授業キーワード】

動詞の現在人称変化、名詞の性、前置詞の格支配

【授業内容及び授業方法】

ドイツ語の発音と文法を教科書にそって学習する。

【授業項目】

動詞の現在人称変化、名詞の性と数、人称代名詞、未来時刻、接続詞、前置詞、分離・非分離動詞、命令形

【教科書】

春日正男・松澤淳「魔法使いのつぶやき」同学社

【成績の評価方法と評価項目】

試験、学習態度、出席状況などにより総合的に評価する。

【留意事項】

予習・復習および宿題は必ず行うこと。

【担当教員】

宮内 俊至

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

1学期に続き、ドイツ語の発音と文法の基礎を学ぶことにより、初歩的なドイツ語能力を習得する。

【授業キーワード】

形容詞、語法の助動詞、現在完了形、受動文

【授業内容及び授業方法】

ドイツ語の発音と文法を教科書にそって学習する。

【授業項目】

形容詞、語法の助動詞、過去人称変化、現在完了形、分詞、再帰動詞、受動文、関係代名詞

【教科書】

春日正男・松澤淳「魔法使いのつぶやき」同学社

【成績の評価方法と評価項目】

試験、学習態度、出席状況などにより総合的に評価する。

【留意事項】

予習・復習および宿題は必ず行うこと。

【担当教員】

宮内 俊至

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

ドイツ語の初歩的な表現力を習得する。

【授業キーワード】

ドイツ語コミュニケーション、発音練習、会話練習

【授業内容及び授業方法】

教科書にそって会話練習を中心に学習する。

【授業項目】

Wie heissen Sie? Wie geht es Ihnen?
Wie spat ist es jetzt? Wir fahren nach Paris. 等

【教科書】

小黒ぶるぎった 他「ともかく話そうドイツ語」郁文堂

【成績の評価方法及び評価項目】

試験、学習態度、出席状況などにより総合的に評価する。

【留意事項】

クラス定員を最大十数名程度とする。

【担当教員】

梅田 純子

【教員室または連絡先】

非常勤講師
umeda@chinanetwork.jp

【授業目的及び達成目標】

四声が正しく言える。ピンイン(発音記号)が読める。初歩的な会話ができる。基礎的文法事項を身につける

【授業キーワード】

中国語。入門。

【授業内容及び授業方法】

フラッシュカードなどを用いて参加型の授業を行う。

【授業項目】

- 1.中国語について
- 2.発音1(四声/母音)
- 3.発音2(複合母音)
- 4.発音3(子音)
- 5.発音4(反り舌音、鼻音)
- 6.人称代名詞/自己紹介
- 7.”是”の文/～的
- 8.SVO
- 9.連動文SVOVO
- 10.これ・それ・あれ
- 11.希望や願望を表す助動詞
- 12.～を持っている/～がある/～がいる
- 13.動詞“在”
- 14.方向位置を表すことば
- 15.～から～まで/指示代名詞

【教科書】

『しゃべっていいとも中国語』陳叔海・劉光赤、朝日出版社。

【参考書】

授業時適宜知らせる。

【成績の評価方法と評価項目】

学期末試験、提出課題、授業中の取り組み姿勢を総合的に評価する。尚、学期末試験実施時期は授業開始後に周知する

【留意事項】

積極的に授業に参加することを望む。

【担当教員】

梅田 純子

【教員室または連絡先】

非常勤講師
umeda@chinanetwork.jp

【授業目的及び達成目標】

正しい発音を定着させる。初歩的文法事項を身につける。

【授業キーワード】

中国語。初級。

【授業内容及び授業方法】

実用としての中国語に重点を置いた参加型の授業を行う。

【授業項目】

1. 数字
2. 形容詞述語文
3. 買い物
4. 年月日／曜日
5. 年齢
6. 家族
7. 量詞
8. 動詞の重ね型
9. 時刻
10. 新事態の発生、状態の変化“了”
11. 時間の長さを表すことば
12. 動作行為の完了を表す“了”
13. 動作の対象を表す前置詞
14. ～できる
15. 進行形

【教科書】

『しゃべっていいとも中国語』陳叔海・劉光赤、朝日出版社。

【参考書】

授業時適宜知らせる。

【成績の評価方法と評価項目】

学期末試験、提出課題、授業中の取り組み姿勢を総合的に評価する。尚、学期末試験実施時期は授業開始後に周知する。

【留意事項】

ピンインが読めることを前提に授業を行う。

【担当教員】

梅田 純子

【教員室または連絡先】

非常勤講師
umeda@chinanetwork.jp

【授業目的及び達成目標】

中国語のコミュニケーション能力を高める。語彙を増やす。

【授業キーワード】

中国語。コミュニケーション。

【授業内容及び授業方法】

コミュニケーションに重点を置いた参加型の授業を行う。

【授業項目】

1. 空港で(人称代名詞／名前の言い方)
2. 飛行機で(指示代名詞／なに・誰)
3. ホテルの受付で(番号／ある・いる)
4. 天安門で(形容詞の文／動詞の文)
5. 年齢・干支(比較)
6. 故宮で(経験／時刻)
7. 遊園地で(場所を表すことば／禁止)

【教科書】

『恋する莎莎』相原茂・陳淑梅・飯田敦子著、朝日出版社。

【参考書】

授業時適宜知らせる。

【成績の評価方法と評価項目】

学期末試験、提出課題、授業中の取り組み姿勢を総合的に評価する。尚、期末試験実施日は授業開始後に周知する。

【留意事項】

ピンインが読め、発音ができることを前提に授業を行う。

【担当教員】

巖 大漢

【教員室または連絡先】

非常勤講師 E-mail: qqen78a9k@car.ocn.ne.jp

【授業目的及び達成目標】

基礎的な韓国語運用能力を習得してもらうとともに、言語の学習を通じて韓国の文化・社会に接してもらうことを目的とします。ハングルの読み書きができる、あいさつ語などの日常生活の決まり文句が運用できる、初歩的な文法事項が運用できる、以上の三つを目標とします。

【授業キーワード】

韓国語、ハングル、初級

【授業内容及び授業方法】

【授業項目】に示したものを学習してもらいます。授業はおおむね、復習30分、【授業項目】に示した当日の学習内容の学習60分で構成され、いずれも学習者の演習活動がメインとなります。随時小テストを行います。

【授業項目】

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 ハングル1(基本母音字、基本子音字)
- 第3回 ハングル2(合成母音字、合成子音字)
- 第4回 ハングル3(終声子音字、発音の変化)
- 第5回 まとめ1、自分の名前・所属をハングルで書く
- 第6回 覚えておきたい日常生活の決まり文句
- 第7回 体言の丁寧形
- 第8回 体言の否定形
- 第9回 助詞(主題、添加)
- 第10回 人称代名詞
- 第11回 指示代名詞と指示の連体詞
- 第12回 助詞(所有)
- 第13回 助詞(主格、場所)
- 第14回 助詞(並列)と位置関係のことば
- 第15回 まとめ2、自己紹介文を韓国語で作る

【教科書】

李昌圭『文法から学べる韓国語』(2009年11月 ナツメ社 1800円+税 CD付)

【参考書】

韓日辞書。授業中に紹介します。

【成績の評価方法と評価項目】

平常点40%、学期末試験の成績60%。なお、学期末試験は第15回の授業の次の回に行います。

【担当教員】

庵 大漢

【教員室または連絡先】

非常勤講師 E-mail:qqen78a9k@car.ocn.ne.jp

【授業目的及び達成目標】

韓国語初級Iで学んだことを基礎に、より豊かな韓国語運用能力を身につけてもらうとともに、言語の学習を通じて韓国の文化・社会に対する理解を深めてもらうことを目的とします。韓国語の基礎的な文法事項が運用できるようになることを目標とします。

【授業キーワード】

韓国語、初級、文法

【授業内容及び授業方法】

【授業項目】に示したものを学習してもらいます。授業はおおむね、復習30分、【授業項目】に示した当日の学習内容の学習60分で構成され、いずれも学習者の演習活動がメインとなります。随時小テストを行います。

【授業項目】

- 第1回 ガイダンス、1学期学習内容の復習
- 第2回 用言の丁寧形1、助詞(目的)
- 第3回 用言の否定形、助詞(移動)
- 第4回 助詞(場所、手段)
- 第5回 助詞(比較、方向、共同)
- 第6回 漢数詞
- 第7回 固有数詞
- 第8回 助詞(時間、単位・数の基本)
- 第9回 助詞(時間・場所の起点、限度)
- 第10回 動詞の尊敬形1、体言の尊敬形
- 第11回 語尾(羅列)
- 第12回 用言の丁寧形2
- 第13回 体言の丁寧形、動詞の尊敬形2
- 第14回 用言の過去形
- 第15回 まとめ、韓国語で日記を書く

【教科書】

李昌圭『文法から学べる韓国語』(2009年11月 ナツメ社 1800円+税 CD付き)

【参考書】

韓日辞書。授業中に紹介します。

【成績の評価方法と評価項目】

平常点40%、学期末試験の成績60%。なお、学期末試験は第15回の授業の次の回に行います。

【留意事項】

ハンゲルの読み書きができることを前提として授業を行います。

【担当教員】

庵 大漢

【教員室または連絡先】

非常勤講師 E-mail:qqen78a9k@car.ocn.ne.jp

【授業目的及び達成目標】

韓国語の初歩的会話力を身につけてもらうとともに、言語の学習を通じて韓国の文化・社会に対する理解を深めてもらいます。韓国旅行の際、最低限の用がまかなえる程度の韓国語コミュニケーション能力及び韓国の文化・社会についての理解を備えてもらうことを目標とします。

【授業キーワード】

韓国語、会話

【授業内容及び授業方法】

韓国旅行を想定し、現地で必要になる言葉をシチュエーションごとに習得してもらいます。関連する韓国の文化ならびに社会事情について担当教員が説明を加えます。

【授業項目】

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 日常のひと言フレーズ
- 第3回 初対面のフレーズ、自己紹介
- 第4回 日常の基本フレーズ1
- 第5回 日常の基本フレーズ2
- 第6回 日常の基本フレーズ3
- 第7回 交通機関を利用する
- 第8回 買い物をする1
- 第9回 買い物をする2
- 第10回 食事をする1
- 第11回 食事をする2
- 第12回 観光をする
- 第13回 電話をかける・電話をうける
- 第14回 トラブルに対処する1
- 第15回 旅行で使う言葉

【教科書】

小林真美『韓国語会話入門』(2009年7月 西東社 1600円＋税)

【参考書】

適宜紹介します。

【成績の評価方法と評価項目】

平常点30%、学期末試験の成績70%。なお、学期末試験は第15回の授業の次の回に行います。

【留意事項】

韓国語初級IIを並行して履修することが望ましい。